

● 広報

おくび



2026

2

No. 856

わが しゅ
白い森でかがやく“若い衆” ⑨

舟山浩太さん（兵庫館）は、小国町地域総合商社に勤務する一方で、小国卓球スポーツ少年団（今野祐治代表）のコーチとして子どもたちに指導を行っています。

高校卒業後からコーチを続けているという舟山さんは、「子どもたちには、技術向上のためのアドバイスだけでなく、あいさつや返事などといった基本的な姿勢についても徹底するように伝えています。社会に出てからも多方面で活躍できるように指導を続けていきたいです。」と話してくださいました。



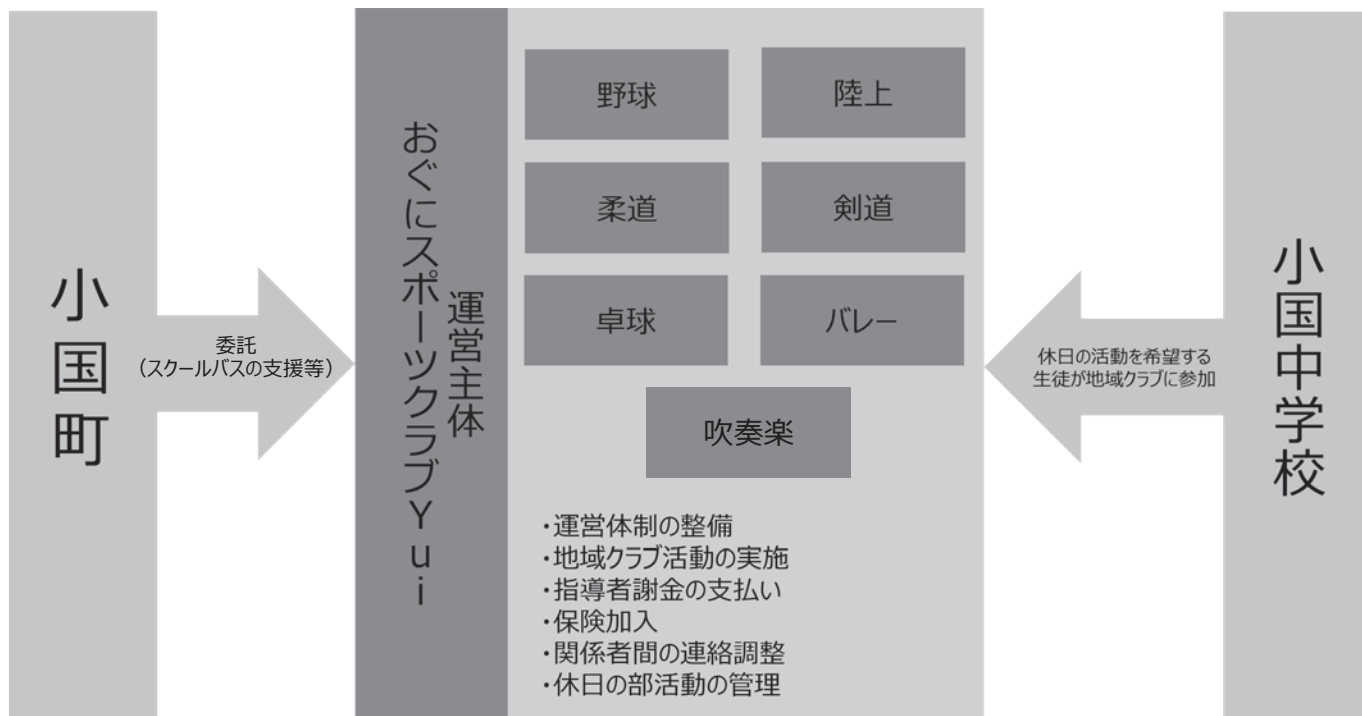
地域とのつながりで さらなるスポーツ活動を ～学校部活動の地域展開とスポーツ振興～



人口減少、少子高齢化など社会環境の大きな変化により、近年、学校の部活動の姿が大きく変わろうとしています。部活動の地域展開が全国的に始められており、新しい動きが進められています。

今回は、部活動を取りまく環境と、本町でも取り組みが進められている「部活動地域展開」の概要と、地域展開に関わるかたのお話をうかがいながら、これからの町内のスポーツのあり方について考えます。

《本町の地域移行による「地域クラブ活動」の運営体制図》 令和6年度の実証事業として行われた際のもので、町が運営主体である「おぐにスポーツクラブYui」に委託する形で進められた。



部活動を取りまく現状

子どもたちの心身の健全な育成や、人間関係の構築などに大きく貢献している「部活動」。これまでは、原則、学校単位での活動と位置づけられてきました。一方で、全国的な少子化による生徒数の減少により学校単位でのチームスポーツのメンバー編成が困難になってきていることや、生徒の特性や希望に応じた部活動選択の多様化などにより、近年、部活動のあり方は大きな転換期を迎えています。

こうした経緯を踏まえ、国では「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関するガイドライン」を昨年12月に策定しました。この中で、令和8年度からは「改革実行期間」がスタートし、休日の部活動については、原則、すべての部活動にお

いて地域展開をめざすということが示されています。具体的には、部活動は学校教育の一環として、基本的には学校単独で実施することにあわせて、学校と連携して行う「地域クラブ活動」としての位置づけを加え、地方公共団体や多様な組織・団体もその実施主体となることで、スポーツ少年団や競技団体と連携し、チーム編成の維持による持続可能な体制の確保や、生徒に合わせた部活動選択を可能にするものとしています。

本町においても、令和4年度より部活動の地域連携・地域移行に関する実証事業を実施し、令和6年度は町内の総合型地域スポーツクラブを運営主体として、6つの部活動で実証事業を行いました。実施内容としては、町が運営主体に対し業務委託し、スクールバスの支援等を行い、中学生は、

休日の活動を希望する場合に運営主体が実施している地域クラブ活動に参加するという形で進められました。今年度も同様の形で事業に取り組んでいます。

進む地域展開

これまでの部活動の形から段階的に変わりつつある中で、実際の活動における変化や今後の姿について、卓球クラブで指導を行っている運営主体代表の今野祐治さんからは「これまでは部活動の顧問の先生に競技経験がなく、専門的な指導をすることが難しいケースがありました。この度の地域クラブ活動との連携により、外部指導者からの専門的な指導を行うことができるようになったことは、競技力向上の面からも意義のあることであると思います。実際に生徒たちも色々なア

ドバイスを受けて成長しようとする姿勢がみられています。今後は中学生だけでなく、小学生なども含めたクラブ活動を通して、技術向上と地域でのコミュニケーションの機会の場としていきたいと考えています。」とお話をいただきました。小国中学校の卓球部として活動する中学1年生の藤田稜樹さんは「部活動とクラブ活動の両方に参加しています。クラブの指導者から色々なアドバイスを受けて



▲卓球クラブでの活動の様子

技術も上達した実感があります。今まで勝てていないチームに勝ちたいという明確な目標もできたので、その目標を達成するためにこれから練習していきたいです。」とクラブ活動参加による自身の競技に対する意識の変化についてお話しいただきました。

また、これまでも学校と地域の双方において指導を行ってきた野球クラブの指導者小田浩史さん（小国町）は「現在も2週間に1回程度、小学生のスポーツ少年団と中学校の部活動は合同で活動しています。私は長年、スポーツ少年団のコーチとして子どもたちを見ていますが、部活動と合同で行うようになってから、小学生は中学生の技術に加えて、挨拶や返事などの礼儀に対する姿勢なども吸収し、多くの面で成長が感じられるようになりました。こう

したことが地域で活動することの意義だと思っています。今後は、少子化などもあり、単独チームで継続していくということについても検討が必要になると考えています。指導者たちで知恵を出しながら、近隣市町村との連携なども含め、子どもたちが野球を続けられる体制づくりをしていきたいです。」とお話しいただきました。同じく野球クラブ指導者の舟山俊喜さん（若山）は「クラブで中学生を指導



▲中学校部活動とスポ少合同で活動が行われている

するということは、スポーツ少年団で小学校からみてきた子どもたちを中学生になっても引き続きみることができると、子どもたちにとっても、指導者から継続して指導を受けられるという点でより良い環境で活動できているのではないかと思います。クラブ活動は部活動と異なり、大会の申込などといったことも自身で行う必要がありますが、子どもたちが真剣に楽しく野球に向き合ってもらえるよう、地盤づくりも頑張りたいです。」と地域主体の活動の利点と指導者としての意気込みについてお話しいただきました。

さらにスポーツを

明治時代から130年にわたり続けられ、同時に私たちの身近な存在であり続けてきた部活動は、学校に

とっても地域にとってもなくてはならない存在であるといえます。近年は、本町出身の生徒が部活動やクラブ活動において、各種全国大会に出場するなど、活躍の場を広げています。部活動に参加する生徒たちが「この競技を小国で続けたい」「もっと上手になりたい」「自分のペースで参加したい」などといった多様な思いに応えるために、今後、部活動における地域の連携はますます重要となります。小国町スポーツ協会の舟山孝夫会長は「少子化が進むなか、子どもたちのスポーツ環境をいかに守っていくのかを考えることが地域スポーツ関係者の使命だと考えています。これから、指導者・行政・学校・保護者が一体となって連携して、部活動地域展開などをはじめとするスポーツ活動に取り組んでいきます。」とお話しいただきました。そのため

には、生徒たちの活動の受け皿となる地域のスポーツ団体や競技団体のさらなる振興は大変重要です。町としても、引き続き町内各種スポーツ団体・競技団体に対し、指導者育成や環境整備などを目的とした支援や、ニュースポーツ大会や白い森スポーツフェスティバルでの各団体との連携によるスポーツ振興を進めていきます。そして、これからもスポーツにおいて、全国、世界で活躍する「小国っ子」の育成に努めていきます。



▲毎年盛り上がりを見せる白い森スポーツフェスティバル

白い森ウィンタースポーツ大会が開催されます！

■日 時 2月15日(日) 8時30分～
※荒天等の場合は中止となります

■会 場 横根スキー場

■競技種目

○スキー・スノーボード競技：ジャイアントスラローム種目

○レクリエーション競技：スノータワー競争（雪積み競争）、雪上綱引き

■問合先

教育振興課スポーツ振興担当（☎62-2141）へ





令和8年新春賀詞交歓会

今年1年のさらなる発展を願う

1月8日、白い森ショッピングセンターアスモにおいて令和8年新春賀詞交歓会が行われ、町内各企業・団体等の代表者74人が参加しました。

交歓会では、小国町商工会佐藤靖彦会長による今年1年のさらなる発展を願った主催者あいさつ等につき、鏡開きが行われました。参加者は笑顔あふれる和やかな雰囲気の中で、それぞれ年頭のあいさつを交わしながら、今年の抱負などを語り合っていました。



N高グループ体験プログラム合宿

小国の雪とマタギ文化を間近で触れる

学校法人角川ドワンゴ学園が運営するN高等学校グループの高校生8人が、1月9日から13日にかけてマタギ文化の体験プログラムを中心とした合宿を町内において行いました。

このうち、10日に行われたマタギ講話では本間義人さん（小玉川）を講師として、小国のマタギについての歴史や文化などについて学ぶプログラムがありました。参加した高校生から「小国と都市部の狩猟の考え方の違いに驚きました。新たな視点を得ることができました」との感想が聞かれました。



▲本間義人さんによるマタギ講話の様子

令和8年小国町消防出初式

災害・事故のない町をめざして

小国町消防出初式が、1月11日におぐに開発総合センターを会場に行われました。

式では、宮司による今年1年の安全祈願が行われ、その後、金沢誠団長から「昨年は災害などによる消防団の出動がありませんでした。今年は引き続き災害が発生しないことを祈りながら、災害が発生した場合には速やかに出動できるよう万全の準備をお願いします」と年頭訓示がありました。式終了後は、消防団車両による防火パレードが行われ、火災予防を呼びかけました。



ファミリーワーケーション開催 親子で小国の冬を体験！

1月9日から12日にかけて、町外の親子が町内で体験アクティビティなどを行うモニターツアー「ファミリーワーケーション」が白い森交流センターふれにて行われました。

今年度初めて開催された本ツアーには親子3組7人が参加し、参加者は、そりすべりなどの雪遊び体験や団子木づくりなどといった郷土文化体験などを行い、親子で小国の冬を楽しく体感している様子がみられました。



人権擁護委員委嘱状伝達式 仁科佳代子氏を人権擁護委員として委嘱

1月14日、人権擁護委員の委嘱状伝達式が役場で行われ、佐藤克洋山形地方法務局米沢支局長が法務大臣からの委嘱状を仁科佳代子氏（尻無沢）に手渡しました。

任期は令和8年1月1日から令和10年12月31日で、これから人権擁護委員として、人権相談や人権教室、人権の花運動といったさまざまな人権啓発活動に取り組まれます。



町内各所さいず焼き

1年間の健康と安全を祈る

1月中旬の小正月における伝統行事として親しまれているさいず焼きが、町内各所において行われました。

このうち、昨年から大宮地区で行われている「大さいず焼き」が1月17日に行われ、多くのかたが来場しました。来場者は高く燃え上がる火の中にお札や正月飾りなどを入れてお焚き上げを行ったり、火を使ってもちなどを焼いて食べたりしながら、ことし1年の無病息災や家内安全を祈っていました。

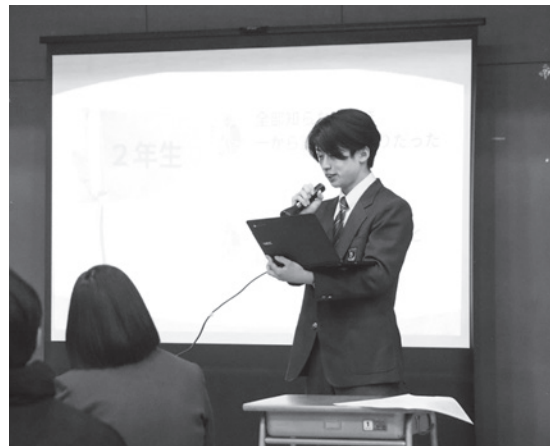


挑め、ともに！

小国高校魅力化通信⑤

白い森未来探究学地域構想学発表会

1月14日に、3年生の白い森未来探究学、地域構想学の発表会を行いました。生徒が2年生の地域実践学から2年間かけて取り組んできた「マイプロジェクト」の発表を行い、町長をはじめとした地域のかたがたから講評をいただきました。これまでの取り組み内容や成果などを堂々と発表している姿が印象的でした。



〈生徒の声〉

「3年間を振り返って、今の自分は1年目の自分からは考えられないほどの行動力がついたと思います。同級生の発表を聞いて、それぞれの探究の過程とその集大成を見ることができたのも学びになりました。」
「2年生の時に比べ、今年は実践することが多く、先生や同級生の力も借りて充実した探究になりました。」

協力隊通信

series 113

「冬の寮のひとこま」

地域おこし協力隊 かとう 加藤 せいな 聖奈

私は県外から来た小国高校生が暮らす学生寮で、ハウスマスターとして寮生の生活サポートを中心に活動しています。12月はみんなでクリスマスパーティーを行いました。お菓子作りをしたり、部屋を飾り付けたりと、準備からワイワイ楽しい時間を過ごしました。当日は写真を見てわかるように、笑顔があふれるにぎやかなひとときとなりました。日々の何気ない時間や行事を通して、生徒たちが安心して過ごせる居場所づくりを大切にしています。



令和7年第10回 小国町議会臨時会 令和8年第1回 小国町議会臨時会

令和7年第10回臨時会が12月19日に、令和8年第1回臨時会が1月14日に開催されました。それぞれ令和7年度一般会計補正予算などが審議され、原案のとおり可決・認定されました。主な内容は次のとおりです。

【令和7年第10回臨時会 一般会計に】

3983万6千円を追加

人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定を受け、職員給与の引上げに伴う人件費等を追加し、補正後の一般会計予算総額は96億6558万6千円となりました。各特別会計に同様の経費を追加したほか、関係する条例の改正を行いました。

【令和8年第1回臨時会 一般会計に】

1億5319万1千円を追加

国の『強い経済』を実現

する総合経済対策』に盛り込まれた物価高に直面する家計の直接的な負担軽減などを図るため、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、町内に住所登録されている町民に対する1人あたり1万5千円の給付や医療・福祉施設などへの物価高騰支援補助金の交付、児童手当に子ども1人あたり2万円を上乗せする「物価高対応子育て応援手当」の給付等を行うことによる所要額を追加し、補正後の一般会計予算総額は98億1877万7千円となりました。



物価高騰支援給付金の支給について

町では、食料品をはじめとする様々な生活物資の価格高騰の影響を受ける町民生活を支援するため、次の給付金を支給します。

■対象者 令和8年1月1日時点で小国町の住民基本台帳に登録のあるかた

■支給額 1人あたり1万5千円

※世帯の人数分の合計額を世帯主のかたの口座へ支払います

■申請方法 具体的な申請方法等は、送付するご案内をご確認ください

■問合先 健康福祉課福祉担当（☎61-1000）へ

今冬に灯油等購入費助成金の申請がお済みでないかたへ

■受付時間 月曜日から金曜日までの8時30分から17時15分

■申請期限 2月27日(金)まで

■対象要件

令和7年10月1日現在で小国町に住所を有し、令和7年度の町民税非課税世帯であり、かつ65歳以上の高齢者、母子・父子家庭、障がい者、共同生活援助利用世帯のかた

■申請場所 健康管理センター

■必要なもの 先にお送りした案内文書をご確認ください。

■問合先 健康福祉課福祉担当（☎61-1000）へ

令和8年度分（令和7年所得）の町・県民税申告相談を行います。申告相談は3月16日(月)までとなっておりますので、申告が必要なたは忘れずに申告してください。

■町・県民税申告が必要なかた

申告が必要なかたは、「令和8年1月1日現在で、小国町に居住されているかた」です。ただし、次に該当するかたは、町・県民税申告書の提出を省略することができます。

▼税務署に確定申告書を提出したかた

▼公的年金や年末調整済みの給与所得のほか収入のないかたなど

※申告書が送付されていないかたでも、令和7年中に公的年金や年末調整済みの給与以外に所得があつたかた、各種所得控除を受けたかたなどは、申告の必要があります。

■令和7年中まったく収入がなかったかたは？

申告書の職業欄に「収入なし」「学生」等を、所得金額の合計欄に「0」を記入し、提出してください。特に次のようなかたは忘れずに申告してください。

▼所得や税関係の証明書が必要なかた

- ▼国民健康保険加入者または加入予定者およびその世帯主
- ▼介護保険および後期高齢者医療保険の加入者とその世帯主
- ▼国民年金免除申請をお考えのかた
- ※障害年金や遺族年金は、町・県民税の所得の算定には含まれないため、申告する収入、所得金額に記載せず、これらの収入のみの時は、収入なしと申告してください。

■申告に必要なもの

- (1) 申告書
- (2) マイナンバーカード
- ◇マイナンバーカードをお持ちでないかたは①および②の書類
- ① 番号確認の書類
- 個人番号通知カード等の個人番号を確認できる書類
- ② 身元確認書類
- 運転免許証や本人確認できる書類
- ※申告書を郵送または窓口で提出する際は、マイナンバーカードまたは①および②の写しが必要です。

スマホから確定申告

スマホとマイナンバーカードを使って、自宅からe-Taxで手軽に確定申告ができます。

さらにマイナポータルと連携することで、医療費やふるさと納税など控除に関する情報を一括で取得することができ、ため、確定申告書の作成がより便利となります。

■申告期限・納期限

- ・所得税及び復興特別所得税
3月16日(月)まで
- ・消費税及び地方消費税
3月31日(火)まで

申告方法の動画など、詳しくは国税庁HP「確定申告特集ページ」をご覧ください。

■問合先

長井税務署 (☎0238-84-1810) へ



←詳しくはこちらからご確認ください

- (3) 収入と支出が確認できる書類
- ◇給与・公的年金所得 令和7年分の源泉徴収票
- ◇営業・不動産所得 収支内訳書、売上や仕入れの帳簿類、必要経費の領収書など
- ◇農業所得 収支内訳書、出荷伝票、領収書、新たに購入した農機具などに関する書類、補助金、交付金等の収入が確認できる書類など
- ※営業・不動産所得および農業所得については、事前に収支を整理してください。
- ◇雑所得・一時所得 支払証明書や通帳など収入金額が確認できる書類
- ◇譲渡所得 売買契約書や経費の領収書、公共事業による売買の場合は3枚組の収用証明書
- (4) 所得控除を受ける場合に必要障害者手帳、障害者控除対象者認定書等の各種証明書、生命保険料控除証明書などの支払金額を証明する書類など
- (5) 通帳など申告者本人の口座が確認できるものおよび口座の届出印
- (6) 利用者識別番号を取得済みのかたは確認できる書類
- ※税務署から届く「確定申告のお知らせ」のハガキなどをお持ちください。

■問合先 税務課税政管理室 (☎62-2403) へ

令和8年度分 町・県民税 申告相談受付日程

月 日	相談会場	午 前		午 後	
		受付時間	対象地区	受付時間	対象地区
2月6日(金)	役場大会議室	9時～11時	全地区（年金収入のみの方対象）	13時～16時	全地区（年金収入のみの方対象）
2月9日(月)	役場大会議室	9時～11時	小国町1・2、地蔵町	13時～16時	緑町1・2
2月10日(火)	役場大会議室	9時～11時	坂町1・2	13時～16時	坂町3・5、駅前1・2
2月12日(木)	役場大会議室	9時～11時	栄町1・2	13時～16時	本町1・2・3
2月13日(金)	役場大会議室	9時～11時	兵庫館1	13時～16時	兵庫館2
2月16日(月)	役場大会議室	9時～11時	岩井沢1	13時～16時	上岩井沢
2月17日(火)	役場大会議室	9時～11時	岩井沢2	13時～16時	東原
2月18日(水)	役場大会議室	9時～11時	町原	13時～16時	あけぼの
2月19日(木)	役場大会議室	9時～11時	大滝	13時～16時	種沢
2月20日(金)	役場大会議室	9時～11時	松岡	13時～16時	綱木箱口、伊佐領
2月21日(土)	役場大会議室	9時～11時	休日相談	13時～16時	休日相談
2月24日(火)	役場大会議室	9時～11時	平林、西	13時～16時	旭町
2月25日(水)	役場大会議室	9時～11時	小芦、北	13時～16時	田沢頭
2月26日(木)	役場大会議室	9時～11時	増岡	13時～16時	幸町1・2
2月27日(金)	役場大会議室	9時～11時	大宮、宮の台	13時～16時	小渡
3月2日(月)	役場大会議室	9時～11時	館	13時～16時	若山、古田、金目
3月3日(火)	役場大会議室	9時～11時	尻無沢、今市	13時～16時	舟渡
3月4日(水)～6日(金)は、出先会場向けシステムの切替作業を行うため、申告相談は行いません。					
3月9日(月)	旧あさひ保育園 (遊戯室)	9時30分～11時	越中里、長沢	13時～14時30分	六ヶ字
3月10日(火)	玉川コミュニティセンター (和室)	9時30分～11時	玉川、玉川新田、足水中 里、樽口	13時～14時30分	中田山崎、片貝、足野水、 市野沢、百子沢
3月11日(水)	水源の郷交流館 (多目的室)	9時30分～11時	上叶水、下叶水	13時～14時30分	新股、河原角、上大石沢、 下大石沢
3月12日(木)	旧白沼小中 (音楽室)	9時30分～11時	白子沢、間瀬	13時～14時30分	沼沢1、沼沢2
3月13日(金)	梅花皮荘 (大広間)	9時30分～11時	小玉川、泉岡	13時～14時30分	長者原、玉川中里
3月16日(月)	りふれ (セミナー室)	9時30分～11時	三ヶ字、石滝	13時～14時30分	五味沢

～申告相談は3月16日(月)までです～

高齢者の障害者控除対象者認定制度について

身体障害者手帳等をお持ちでなくても、介護保険で要支援・要介護の認定を受けた高齢者（65歳以上）等のうち、寝たきり・認知症等心身の状況により、所得税・地方税法上の障害者控除の対象者として認定される場合があります。

障害者控除の認定を受けるには、町に申請する必要がありますので、下記に問合せください。

なお、身体障害者手帳等をお持ちのかたは、すでに障害者控除の対象者ですので申請の必要はありません。

■認定基準

- ・65歳以上のかた
- ・要支援以上の認定を受け、寝たきり・認知症等心身の状況により身体障害者等に準ずるかた

■申請・問合せ先 健康福祉課長寿介護担当（☎61-1000）へ

お知らせ

町営住宅入居者募集

小坂町団地

3DK 6戸

(2階、3階、4階)

◎対象 世帯状況に応じた所得制限あり

◎家賃 所得により決定

◎敷金 家賃の3カ月分

◎募集期限 2月10日(火)

◎入居時期 3月上旬以降

◎問合先 地域整備課建設管理担当 (☎62・2431)へ

「国税専門官採用試験」(大学卒業程度)のお知らせ

仙台国税局では、税務のスペシャリストとして活躍する

バイタリティーあふれる国税専門官を募集しています。

国の財政を支える国税専門官に、あなたもチャレンジしてみませんか？

■受験資格

①平成8年4月2日から平成17年4月1日生まれのかた

②平成17年4月2日以降生まれのかたで大学(短大を除く)を卒業及び令和9年

3月までに大学を卒業する見込みのかた

■受験申込期間

2月19日(木)～3月23日(月)

■受験申込方法

インターネット申込

(国家公務員試験採用情報N・A・V・I)

■第一次試験日

5月24日(日)

■問合先

仙台国税局人事第二課試験研修係 (☎022・263・1111) または人事院東北事務局 (☎022・221・2022) へ

生活なんでも相談ダイヤル

■日時 3月12日(木)～13日(金) 10時～17時

■内容

生活全般に関する悩みや困りごと相談(借金、法律、家庭、就労他)

■相談方法

電話相談 ※事前申込不要

■相談・問合先

生活あんしんネットやまがた (☎0120・39・6029) へ

放送大学4月入学生募集

放送大学は、BSテレビやインターネットを通して学び

通信制の大学です。

心理学、福祉、経済、歴史、文学、情報、自然科学等、幅広い分野が1科目から学べ、

学士(教養)の学位を取得することもできます。また、学

士(看護学)や認定心理士等の学位・資格を取得することも可能です。

現在、2026年第1学期(4月入学)の学生を募集しています。

■出願締切

3月16日(月)

■問合先

放送大学山形学習センター (☎023・646・8836) へ

『やまがた縁結びたい』による結婚相談会

■日時 2月14日(土) 13時～16時45分

■場所 やまがたハッピーサポートセンター置賜支所(米沢市)

■対象 結婚を希望するかた

またはそのご家族(予約制)

■内容 婚活の仕方、お見合い相手の紹介などの個別相談

■その他 県登録ボランティア仲人「やまがた縁結びたい」を募集しています。詳しくは「やまがた縁結びた

い」で検索ください。

■申込・問合先 やまがたハッピーサポートセンター (☎023・687・1972) へ

聴覚障がい者向けICT機器等(電話リレーサービス・ヨメテル)展示会のご案内

■日時 3月1日(日) 12時～16時

■場所 新庄市民プラザ (新庄市大手町1・60)

■対象者 聴覚障がい者及び手話関係者など

■内容 ICT機器等の相談・体験・展示など

■その他 申込は不要です

■問合先 山形県聴覚障がい者情報支援センター (☎023・666・7616) へ

LINE公式アカウント

お友達募集中 「山形県小国町」

LINEの「お友達追加」からID検索するか、QRコードをスキャンしてください。



@shiroimori_oguni

小国高等学校加藤真央教諭が 文部科学省優秀教職員表彰を受賞

県立小国高等学校（山科勝校長）の加藤真央教諭が文部科学省優秀教職員表彰を受賞し、1月20日に表彰式が行われました。

加藤教諭は、家庭科教諭として地域と連携・協働した授業を積極的に取り入れたほか、本町の移住者コミュニティ「つむぐ」の活動を高校生に広め、学校と地域の架け橋の役割を果たすなど、地域との連携・協働の推進において特に顕著な成果が認められたものです。



おきたま新電力株式会社から 寄付金が贈呈されました

おきたま新電力株式会社（後藤博信代表取締役）より、本町に寄付金が贈呈され、1月14日に寄付贈呈式が行われました。

寄付金は、同社の意向により本町の子育て支援事業に活用することを目的として寄贈いただきました。式では、後藤博信代表取締役から「小国の未来を担う人材をはぐくむために役立ててほしい」との話がありました。



『終末期医療・介護・終活に関する研修会』のお知らせ

- 日時 3月2日(月) 13時30分～15時
- 場所 健康管理センター 森のホール
- 内容 町立病院院長・訪問看護・地域包括の講話・エンディングノート紹介
- 参加費 無料
- 申込締切 2月24日(火)まで
- 申込・問合せ先 地域包括センター（☎61-1001）へ ※電話にてお申込みください



確定申告書作成会場の開設について

- 開設場所 長井税務署 会議室
- 開設時期 2月16日(月)～3月16日(月)（土日祝日を除く）
- 開設時間 9時～17時
- その他

スマホ（又はパソコン）とマイナンバーカードを利用して、自宅からe-Taxで24時間申告することができますので、ぜひご利用ください。

会場への入場には「入場整理券」が必要です。入場整理券は会場で当日配付するものとLINEによるオンライン事前予約により発行するものがあります。当日の相談受付は、相談枠に限りがありますので、オンライン事前予約をぜひご利用ください。なお、入場整理券の当日配付状況によっては、後日の来場をお願いすることがあります。

申告書作成会場では、スマホとマイナンバーカードを使用し、ご自身で申告書を作成、e-Taxにより送信（提出）していただきますので、お持ちのかたは必ずご持参の上、ご来場ください。なお、マイナンバーカードに設定した2種類のパスワードのほか、マイナンバーカードの電子証明書が無効化されていないかを必ずご確認くださいますようお願いいたします。

- 問合せ先 長井税務署（☎0238-84-1810）へ

保健カレンダー

1. 各健診の日程等

■1歳6か月児健診

- ・期 日 2月6日(金)
- ・受付時間 12:30～13:00
- ・対 象 R6年5月～8月生まれ

■2歳児歯科健診

- ・期 日 2月18日(水)
- ・受付時間 13:00～13:15
- ・対 象 R5年5月～8月生まれ

2. 場 所 健康管理センター

3. その他 母子健康手帳を持参ください。

4. 問合先 健康管理センター（☎61-1000）へ

今月の納税 2026.2

2月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

●3月2日(月)

国民健康保険税・後期高齢者医療保険料

●2月26日(木)

水道料、下水道料、簡易水道料

●3月2日(月)

介護保険料、住宅使用料、児童福祉使用料

■問合先

税務課税政管理室（☎62-2403）へ

子育て支援センターから

■2月の広場日程

	曜日・日時	時間	申込
あそびの広場	2/14(土)	9:00～11:30・13:00～16:00 場所：健康管理センター	不要
なかよし広場	月～金	9:00～11:30・13:00～16:00 場所：アスモ内または健康管理センター	
行事	豆まき	2/3(火)10:00～・健康管理センター	要

■対象者 就学前のお子さんとお家のかた

■利用時の注意点

体調の悪い場合は、利用できません。

■その他

お気軽にご参加ください。平日はいつでも子育て相談に応じしています。

■問合先 子育て支援センター（☎090-9015-8330）へ

求 人 情 報

町ホームページにおいて、小国町をおもな就業先としている求人情報を毎週火曜日に更新しています。下記の二次元コードよりご覧ください。

既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。求人情報の詳細については、ハローワーク長井（☎84-8609）へお問い合わせください。



◀ホームページはこちらから

入札結果情報（令和7年12月21日～令和8年1月20日実施）

単位(円)

入札日	工事・事業名	施行場所	工期(完了)	予定価格	落札業者	落札価格
R7.12.22	令和7年度 飯豊梅花皮荘客室洋室化工事	小玉川地内	R8.3.27	45,450,000	㈱高橋工務店	45,300,000
R7.12.25	令和7年度 自動採血管準備システムの更新	あけぼの地内	R8.2.26	7,880,000	㈱南部医理科 山形営業所	7,600,000
R8.1.15	令和7年度 小国中学校男子トイレ給水配管工事	岩井沢地内	R8.3.27	2,662,000	小国ガス エネルギー(株)	2,380,000

※入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。



●小国町役場 代表（総務企画課） ☎ 62-2111 代 fax62-5464

●行政管理室 ☎ 62-2112

●観光交流推進室 ☎ 62-2416

●住民窓口担当/町民生活担当/危機管理担当 ☎ 62-2260

●建設管理室 ☎ 62-2431

●企画財政室/次期総合センター建設推進室 ☎ 62-2264

●白い森ブランド戦略室 ☎ 87-0821

●国保医療担当 ☎ 62-2261

●建設技術室 ☎ 62-2432

●会計室 ☎ 62-2406

●農林振興室 ☎ 62-2408

●税政管理室 ☎ 62-2403

●議会事務局 ☎ 62-2448



戸籍のまど

（ 1 2 月 届 出 分 ）

誕生おめでとうございます。

小 国 町 山 口 橙 環（ 徹 茜 ）

結婚おめでとうございます。

（ 小 国 町 保 科 考 希
新 潟 県 遠 藤 ひかり ）

（ 小 国 町 衣 袋 朋 弥
あけぼの 安 部 成 美 ）

おくやみ申し上げます。

五 味 沢 齋 藤 宮 子 (88)

大 宮 遠 藤 紀 雄 (76)

岩 井 沢 伊 藤 さゆり (58)

古 田 安 部 幹 雄 (89)

小国小坂町 今 三 郎 (90)

田 沢 頭 長谷川 ヨシ子 (94)

新 股 渡 部 浩 子 (63)

舟 渡 塚 原 忠 雄 (74)

町 原 渡 部 昭 三 (97)

小国小坂町 岸 純 夫 (73)

玉 川 井 上 秀 雄 (85)

※この欄に掲載を希望しないかたは、届出の際にお申し出ください。

人口のうごき（令和7年12月31日現在）

人口 男・・・3,145人（-16）

女・・・3,097人（-8）

計・・・6,242人（-24）

世帯数 2,832世帯（-12）

2月の

おぐにスポーツイベント 「運動で健康サプリ」 兼運動習慣推進事業



■日 時 2月14日(土) 10:00~11:15

■場 所 小国町民総合体育館

■内 容 「マシンで筋力アップ」

■参加費 無料

■持ち物 内履き・タオル・飲物

■定 員 15人

■申込締切 2月12日(木)

■申込・問合先
(☎62-5808) へ

特定非営利活動法人

おぐにYui
スポーツクラブ

飯豊町・小国町・長井市合同 『結婚相談会 in IIDE』のご案内

予約不要・相談料無料の『やまがた縁結びたい』と『やまがたハッピーサポートセンター』による結婚相談会を行います。

自分に合った婚活の相談をしたい、マッチングシステム「AIナビやまがた」を使ってみたい、結婚相手を探して欲しい等、様々な相談に皆様の気持ちに寄り添ってお応えします。結婚を希望するかたはもちろん、結婚を希望されているご家族のかたからのご相談もお待ちしております。

■日 時 2月14日(土) 13時~16時

■場 所 飯豊町民総合センター あ〜す

■問合先 総務企画課協働のまちづくり担当 (☎62-2264) へ

2月10日(火)は児童手当の支給日です

指定された請求者名義の口座に振り込みますので、ご確認ください。

児童手当は、年6回の偶数月の10日に、前月までの2か月分を支給します。10日が土日祝日の場合はその直前の平日に支給します。

■問合先 健康福祉課福祉担当 (☎61-1000) へ

編集後記 令和8年がスタートし1か月が経ちました。1月は正月気分の余韻を残すことなく目まぐるしく時が過ぎたように感じます。

さて、この編集後記は先月号を皮切りに少し変わった点があるのですがお気づきでしょうか。今年は「縦」の関係性は引き続き大事にしながら、「横」の関係性をさらに広げることができればと思っています。(舟山)

ドローンがみた、 おぐにの風景 No.63



⑥「馬」が見守る河原角地区

河原角地区には、悪霊や煩惱を取り除き、馬の頭部を頭上に置いた馬の守護神である馬頭観音が祀られています。『小国町の信仰』（小国町誌編集委員会編 1995年）によると、かつて、当地区は飯豊山への登山ルートのひとつとなっており、通路の安全を祈る観世菩薩像が祀られていましたが、周辺の大規模道路改修工事に伴い失われ、平成元年に馬頭観音が建てられたといわれています。

馬頭観音が建てられた平成元年の翌年である平成2年は午年でした。今年はその年から36年が経ち、干支でいえば3度巡ったこととなります。厳しい冬においても安全に地区外への行き来ができるようになった今も、「馬」が地区住民を見守り続けています。